



お葬式から、あなたの 個人情報や世帯情報が洩れています！



こんな思いを感じたことはありませんか？

- ◆お葬式が終わるとすぐに、テパートやギフトショップから、香典返しなどのパンフレットがたくさん届けられる。
- ◆霊園の案内電話や墓石会社のセールスマンが頻繁に来る。
- ◆近所の人から保険金や故人の死因についてあらぬ噂を立てられて困っている。
- ◆全く知らない人からお悔やみ電報を頂き、故人生前の借金を催促された。(詐欺事件)

…どうして家の住所や電話番号を知ってるの？
どうしてお葬式があったことが判るの？
死因や死亡場所などを誰が話すの？
第三者がなぜ世帯内情を知ってるの？

お葬式は、緊急で突然の出来事です。

またそこでは悲しみや感情も動転していることが多いものです。

このような状況で、私たちは日常の冷静さを失い、とにかく滞ることなく、世間に迷惑にならないことだけを気遣いしています。けれどもお葬式には、亡くなられた『故人』や喪主としての『個人』、あるいはその『世帯』に関するプライベートな情報が、多く流出・拡散していることがあります。その自覚と、個人情報の的確な管理意識を持つことが大切です。

プライベート・インフォメーション・プロテクト

P・I・P 認定 の葬儀社かどうか？ それが葬儀社選択の大きな前提条件！

日本葬祭情報管理協議会は個人情報保護の観点から、葬祭関連企業等に対して『葬祭情報管理適格事業所』認定を行っています。